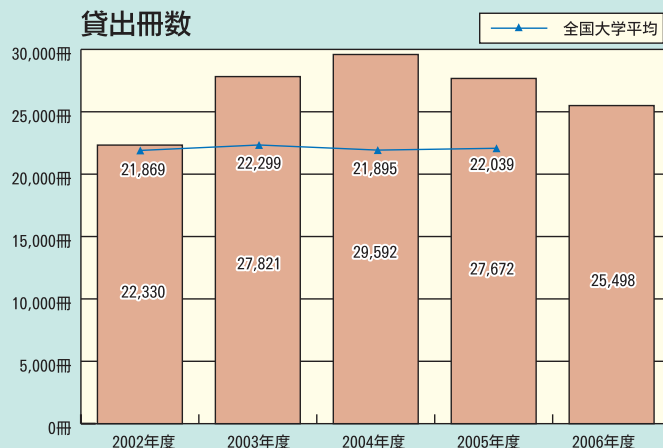
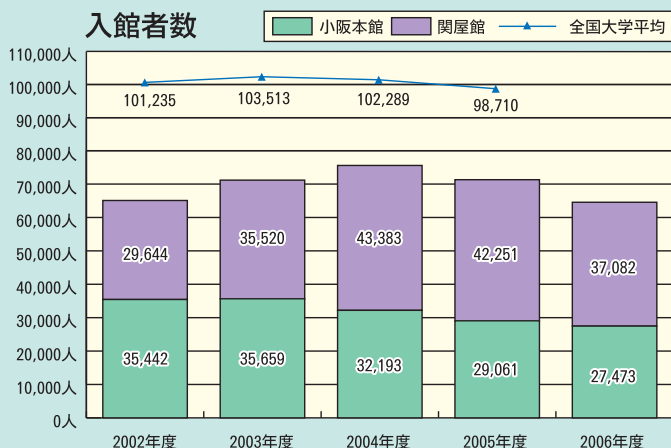


## 年度推移

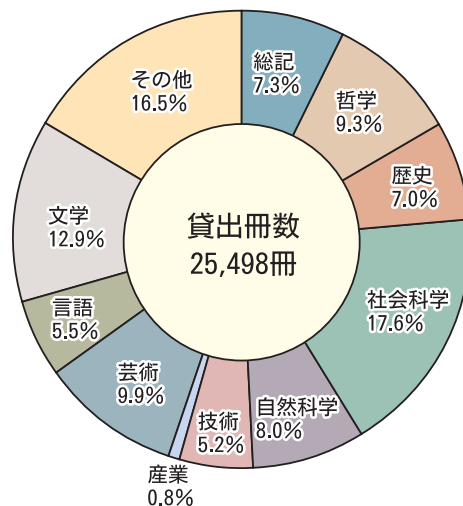
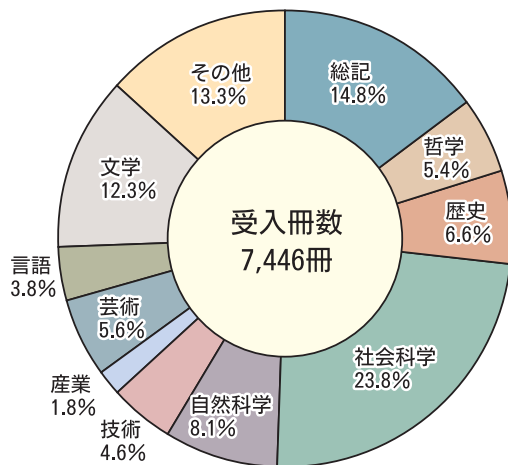


過去5年間の入館者は、おおよそ年間6万人から7万人の間で推移しています。これは、大学平均の7割前後です。2004年度をピークに減少傾向にあります。インターネットの普及によって図書館に来なくても情報を収集できるようになったことも減少の原因の一つだと推測されます。今後、小阪本館を中心に設備の整備・充実をしていく予定です。2006年度の入館者最大月は7月(9,428人)、最少月は3月(917人)でした。

入館者に対して、貸出冊数は大学平均よりも高いところで推移しています。図書館にある資料がみなさんに必要とされているのだと推測されます。

今後も設備や資料の充実を図り、みなさんが使いやすい図書館づくりをしていきます。

## 分野別



本学の所蔵となった図書の冊数(受入冊数)と貸し出された図書の冊数(貸出冊数)の分野別の割合です。

“総記”には、岩波新書や中公新書などの叢書(双書)と呼ばれる図書や図書館や情報に関する図書が含まれます。“哲学”には心理学などが、“社会科学”には社会学はもちろん教育学・経済学・民俗学などの図書の多くが含まれます。デザインに関する図書は“芸術”に、栄養に関する図書は“自然科学”や“技術”などに多く含まれています。“その他”には、本学卒業の作家田辺聖子氏の著作(小阪本館にコーナーがあります)や、資格・就職関係の図書が含まれます。

また、受け入れた雑誌は778誌(和雑誌612誌・洋雑誌166誌)で、視聴覚資料(ビデオやDVDなど)は286点が本学の所蔵となりました。